

たった一人しかない自分を
たった一度しかない人生を
本当に生きかえりなかつたら
人間生きた甲斐がなほなほか、
(山本有三著「路傍の石」の一節)

愛護の友

平成27年度 第1号

発行 社会福祉法人愛護会
愛護会地域福祉推進協議会
責任者 高野 繁喜 (法人理事長)
奥州市水沢区羽田町字水無沢 491
TEL 0197-25-3732
FAX 0197-25-6662

平成二十七年 新採用職員講座開催

平成二十六年三月二十三日・二十四日の二日間に渡り、平成二十七年愛護会新採用職員講座が開催されました。

この講座は、社会福祉法人愛護会に勤務する新採用職員に対して、福祉事業に従事するために必要な事項について指導すると共に社会福祉法人愛護会各施設の事業内容を理解するために行われたものです。高野繁喜理事長による第一講座



高野繁喜理事長の講座

「福祉事業の内容と目的、従事職員に期待するもの」から始まり、社会福祉法人愛護会の各事業部会長、関係役員より、それぞれ講義が行われました。二日目には、愛護会の保育事業部会、援護事業部会、地域生活援助事業部会、長寿福祉事業部会、法人本部事務局の各施設を見学し、各施設長から、施設の概要説明を受けました。受講者らは、愛護会が進める福祉事業を理解すると共に、今後、それぞれが担うべき役割を認識し、業務に対する決意を新たにしました。



地域密着型特別養護老人ホーム愛護苑



障がい者福祉サービス事業所 フラワーセンターあいご



新採用職員の皆さん

平成二十六年 愛護会地域福祉推進協議会 支部活動報告

愛護会地域福祉推進協議会は、水沢区・江刺区・前沢区・胆沢区・衣川区・金ヶ崎町に支部を置き、愛護会が保育事業・障がい者援護事業・障がい者地域生活援助事業、長寿福祉事業で培った経験と専門性を地域に還元し、地域づくりに貢献する事を目的として活動しています。

【水沢区支部】
水沢区支部では、地域におけるボランティア活動の推進を中心とし、リサイクル活動や福祉事業の担い手を育成するための研修会開催のバックアップなどを行っています。
【江刺区支部】
江刺区支部では、虐待防止のための勉強会開催をはじめ、障害者の働く場の確保、地域における福祉事業や保育事業への協力、復興支援活動への参加協力を行っています。
【前沢区支部】
前沢区支部では、地域の民生委員の皆様との親睦を深めながらのボランティア活動をはじめ、ワクチン支援の為のエコ活動を行っています。
【胆沢区支部】
胆沢区支部では、会員相互の資質向上を目的とした研修事業をはじめとして、障がい者の働く場の確保や老人ホームへの支援活動などを進めています。
【衣川区支部】
衣川区支部では、地域の幼保一体化施設



水沢区支部の皆さんの活動の様子



江刺区支部の皆さんの活動の様子



前沢区支部の皆さんの活動の様子



胆沢区支部の皆さんの活動の様子



衣川区支部 地域の皆様との活動



氏家富士子支部長と金ヶ崎町支部の皆さんによる情報交換会の様子



地域の皆様との伐採作業の様子

【金ヶ崎町支部】
金ヶ崎町支部では、各種勉強会の開催や地域行事への積極参加・協力、地域の保育事業への協力などを中心とした事業を進めています。
【全体活動】
三月中旬には、地域の皆様、社団医療法人啓愛会の皆様、愛護会職員参加による近隣市道周辺の伐採作業が行われました。大型機械なども使用した大規模な作業により、通行する皆様の安全確保の一助となっています。

との交流活動や地域の行政・各種団体との連携による地域の環境美化活動などを進めています。

地域に開かれた愛護会各事業のご案内

社会福祉法人愛護会の各施設では、地域の皆様にご協力いただいたり、ご利用いただいたりしながら数々の事業を進めています。今回は、この中から、障がい者福祉サービス事業所「フラワーセンターあいご」をご紹介します。

障がい者福祉サービス事業所・フラワーセンターあいごは、地域生活する障がいのある方々の施設利用を容易にし、地域社会での自立と社会参加を促進する事を目的として、花苗や園芸用土の生産活動、地域の花壇等、植栽・整備に取り組んでいます。



地域の皆様への感謝をこめて、春・夏・秋の年三回、フラワーフェスティバルを開催し、毎回多くの皆様に特別価格で御利用いただいています。平成二十七年の「フラワーフェスティバル春」は、平成二十七年四月十一日(土)・十二日(日)に行われます。詳しくは、愛護会ホームページの「フラワーセンターあいご」イベント情報」又はお電話で確認いたします。



障がい者福祉サービス事業所・フラワーセンターあいごの花壇の様子



障がい者福祉サービス事業所・フラワーセンターあいごの花壇の様子



前回のフラワーフェスティバルの様子

電話 〇一九七
一五・五〇九一

地域と歩む活動の紹介

愛護会の組織は、保育事業部会、障がい者援護事業部会、障がい者地域生活援助事業部会、長寿福祉事業部会、法人本部によって構成されており、それぞれが地域との関わりを大切に活動を行っています。今号では、地域の皆様の御協力をいただき、交流しながら事業を進める保育事業部会と障がい者援護事業部会、長寿福祉事業部会の活動を紹介します。



当日は親子で四十三名の参加があり「てぶくろ」の形劇の演出に、お正月の雰囲気も感じさせ、雪・ひいらぎ等、季節の装飾も素敵で、効

金ヶ崎子育て支援センター 親子で人形劇観賞と 豆まきこっこ体験!

果音も流れてうっとり見入る親子の姿が嬉しそうでした。ふれあい遊びは、優しいわらべ歌に合わせて楽しく遊ぶ事ができましたし、豆まきこっこは、ママ達と町保健師さんも鬼役になってくれて、くつつく事を喜んで、あてっこ遊びを楽しみました。「手作りのものであつても温かみがあつて楽しかった。」人形劇をはじめてみせる事が出来た。「ふれあい遊びや、人形でお話し遊びを家でもやってみよう」と、皆さんから寄せられました。赤ちゃん達も親子でじつと見ていたり、地域のおばあちゃんも参加して下さり、親子がいろいろな方々との楽しい体験から、子どもの成長や発見を確認でき、遊び方を知る等の機会にもなりました。講師の小野寺香代子先生に、季節の行事を楽しむ機会として、そのあり方を気付かせていただきました。今後も、親子と共に五感を育む体験を行っていききたいと思います。



興郷塾



希望の園



静山園



黒田助獅子舞門付け

冷たい風に小雪が舞う二月八日の日曜日、皆が毎年楽しみにしている黒田助地区の皆様による門付けが行われました。黒田助獅子舞保存会(菊地一夫会長、黒田助会、睦会の皆様約三十名が、興郷塾、希望の園、愛護苑、静山の順に訪れ、勇壮な舞を披露していただきました。獅子



愛護苑



「さあ、始めるよ!」さくら組の元気な声が廊下に響きます。自分たちでバケツを用意し、雑巾を絞ります。両手をいっぱい開き、足の指先に力を入れ、長い廊下を力いっぱい雑巾がけします。雑巾がけは、自分の体を支える力と、足で踏み張る力が強化され、大脳

第二東水沢保育園

身体リズム運動
遊びを通して



への刺激も促されます。ゆり組では、手押し車です。手押し車は、腕を伸ばし、自分で体を支え、ペアになる子の事を考えながら、膝を支えてあげます。雑巾がけも手押し車も、体幹の安定性、体のバランス能力を向上させます。「たくましく、しなやかな心と体」作りを実践するために、身体リズム運動遊びの他にも、年齢に合わせながら、日常の活動も工夫をしながら取り組んでいます。



二月四日、横道上下老人クラブの方々十一名が来園し、節分行事の交流会を楽しんでいただきました。

たんぼぼ保育園

節分集会
老人クラブの
方々との交流

ゲーム遊びでは、一歳児「豆ちようだい」二歳児「泣き虫鬼に負けるな」三歳児「おこりんぼ鬼やつつけろ」四歳児「恥ずかしがり鬼倒せ」五歳児「いじわる鬼飛んでいけ」を、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に楽しみました。「子どもたち一人ひとりと何回もやるので疲れるけど楽しい」と笑顔。最後に太鼓の音と共に鬼が登場。一気に雰囲気が変わり、あわてて豆を投げる子どもたち。玄関の方へ逃げだす鬼を、さくら組(年長児)が追いかけると鬼は外へ逃げていき、ひと安心の子どもたちでした。



二月に毎年恒例のお店屋さんごっこを行いました。今までに体験したことや、興味を持ったことを基に、それぞれのお店を考え、二歳児はホットケーキ屋さん、三歳児は団子屋さん、四歳児は病院ごっこ、五歳児は電車ごっこと音楽会を開きました。このお店屋さんごっこに子育て支援の親子を招待し毎回とても喜ばれています。来園すると、「いらつしやいっしやい」と元気な子ども達の声と同時に、お店屋さんが開店。沢山のお店

東水沢保育園

お店屋さんごっこ
子育て支援を通して

にびっくりして初めは固くなってしまう子もいましたが次第に慣れて、「どこに行く? あつちにしようか」「これくうださい」等、親も我が子と一緒に会話をしたり、園児と言葉のやりとりを十分楽しみました。また自分の子どもと同じ年齢の子の成長や発達を感じたり、少し大きい子どもを見て、子育ての見通しを持つことが出来ます。今後もお店屋さんごっこを通して地域の方に保育園の様子や活動を発信したり、園児との交流によって、



親子のコミュニケーションや子育ての参考にするように考えています。



今年度は年長組が水辺の生き物に興味・関心を持ち、様々な感動体験から運動会やクリスマス会の劇活動・製作活動へ繋がりました。二月

金ヶ崎保育園

こいの池の
おみせやごっこ

七日の「こいの池のおみせやごっこ」では三・四・五歳児で廃品を使って品物作りを行った「電気屋」「おもちゃ屋」「魚屋」が開店し、年長組親子が売り手となり大賑わいでした。今年度は地域の方の協力を頂き、お手玉や竹スキー等、貴重な昔の物の展示コーナーで、毎年昔話をして下さる及川重美さんに金ヶ崎に伝わる昔話を話して頂きました。沢山の地域の方、お家の方と共に一年間の子ども達の成長の喜びを感じることができた場となりました。